

**第 20 回アジア競技大会・2027 年世界選手権大会・2027 年アジア選手権大会  
第 34 回オリンピック競技大会（2028／アメリカ・ロサンゼルス）  
アーチェリー日本代表選手選考方針**

**基本方針**

1. (公財) 日本オリンピック委員会及び(公社) 全日本アーチェリー連盟の編成方針を遵守できる選手を選考する。
2. 第 20 回アジア競技大会・2027 年世界選手権大会・2027 年アジア選手権大会・第 34 回オリンピック競技大会（2028／アメリカ・ロサンゼルス）でメダルを獲得できる選手を選考する。  
具体的には、下記の通りとする
  - ・ランキングラウンドでの安定性とトーナメントでの勝負強さを兼ね備えた選手
  - ・チームワークを重視するとともに団体戦も個人戦も強い選手
  - ・高い人間力を兼ね備えている選手
3. 出場枠獲得選手の取扱い
  - ・オリンピック競技大会の出場枠は、選手個人に付与されるものではなく、NOC(日本オリンピック委員会)に付与されるものである。よって、出場枠獲得選手は代表内定とせず、最終選考会において最終的な代表選手を決定する。
  - ・第 34 回オリンピック競技大会の出場枠を獲得した選手については、別途定めるオリンピック最終選考会にシード選手として出場するものとする。また、当該選手は 2028 年 11 月 30 日までナショナルチーム選手（コンパウンドは強化指定選手）として指定する。
4. 出場枠を獲得できなかった場合
  - ・2028 年最終選考会で選出された選手により世界最終予選（FTQT 及び FIQT）に出場し、出場枠の獲得を目指す。

**代表選手選考のための手続き**

1. 理事長が指名した委員（外部理事や弁護士などの有識者を含む）によって構成される「選手選考方法に関する策定選考委員会」にて、強化部より提出された選手選考方法に関する原案を審議し、「策定選考委員会案」として理事会に提案する。
2. 上記策定選考委員会より提案された案を理事会にて審議し、選手選考方法を最終的に決定する。

**代表選手内定人数**

各大会における代表選手内定人数は、下記の通りである。理事会にて承認された選手を各大会の「日本代表内定選手」とする。

1. 第 20 回アジア競技大会：最終選考会
  - リカーブ部門 男女上位各 3 名、男女予備登録各 3 名
  - コンパウンド部門 男女上位各 1 名、男女予備登録各 1 名
2. 2027 年世界選手権大会：最終選考会
  - リカーブ部門 男女上位各 3 名、男女予備登録各 3 名
  - コンパウンド部門 男女上位各 1 名、男女予備登録各 1 名
3. 2027 年アジア選手権大会：上記 2. 「2027 年世界選手権大会：最終選考会」と同じ選手
4. 第 34 回オリンピック競技大会：最終選考会
  - リカーブ部門 男女上位各 3 名、男女予備登録各 3 名
  - コンパウンド部門 男女上位各 1 名、男女予備登録各 1 名

**代表選手が目指す目標（全大会共通）**

1. リカーブ部門
  - 団体（男子・女子）：メダル獲得
  - 混合団体 ；メダル獲得
  - 個人（男子・女子）：メダル獲得
2. コンパウンド部門
  - 混合団体 ；入賞